



FUJIFILM BUSINESS INNOVATION AI

“企業の知”の構造化によるDX推進 - 非構造化データを意思決定資産へ -

2026年1月16日

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社

執行役員

ソリューション&サービス営業統括部 部長

尾崎 裕司

近年、AIは目覚ましい進化を遂げ、 ビジネスシーンで生産性向上の切り札として期待されている

「生成AIは企業の競争環境に革命をもたらす技術であり、これを活用するかどうかで企業の将来が大きく変わる。活用しなければ競合に大きく遅れを取ることになるだろう。」

- サティア・ナデラ (Microsoft CEO) -

「生成AIで生産性を高めることは重要」

- 松尾豊 (東京大学教授、AI研究者) -

「生成AI活用しなければ取り残される」

- 孫正義 (ソフトバンク会長/社長) -

now

対話型AIの
一般普及開始

世界のAI市場規模(売上高)の推移&予測

2022

2023

2024

2025

2026

2027

2028

2029

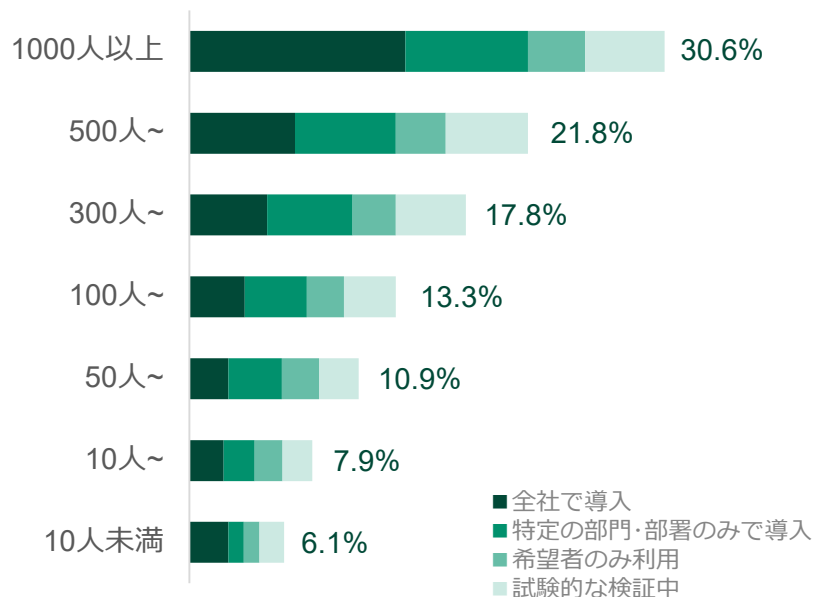
2030

出展：総務省「情報通信白書令和7年版」(2025年7月)

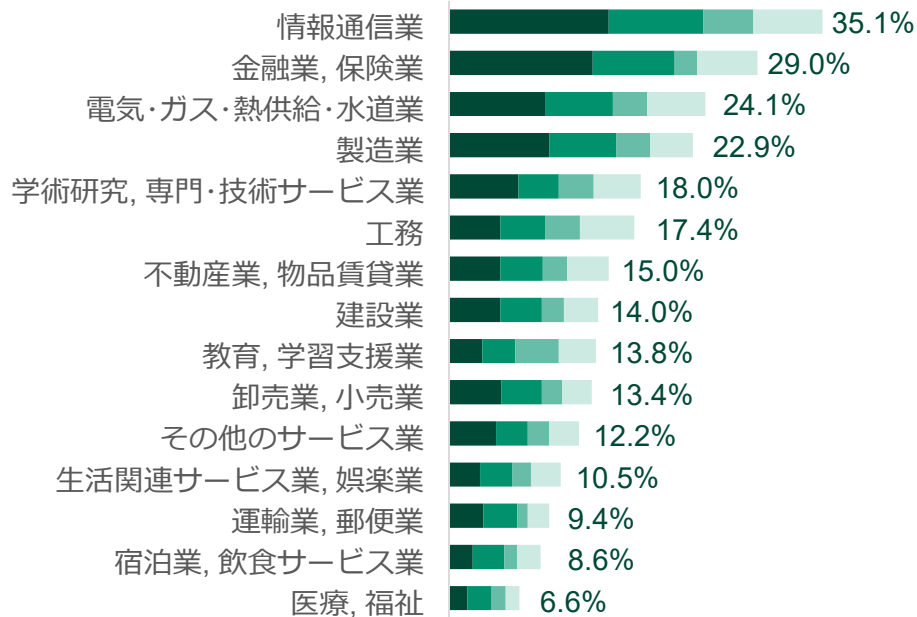
AI活用に ”格差” !? - AIデバйдの実態 -

AIデバйдがもたらす企業間・業種間の情報格差は加速・拡大

■ 企業の生成AI導入・利用率 (従業員規模別) ※1



■ 企業の生成AI導入・利用率 (業種別) ※2



AI活用が進まない要因 立ちはだかる非構造化データの壁

企業活動を通じて蓄積される固有の情報（ナレッジ・ノウハウ）は加速度的に増加。
その90%は非構造化データであり、DX推進における大きな障壁となっている。

世界の構造化データおよび非構造化データの予測 ※1



非構造化データ

- メール文
- 提案書
- 手書きアンケート
- 契約書
- 請求書/納品書
- ...etc.

90%は非構造化データ！

分析・活用が可能な形への変換には膨大な工数がかかる

AI Ready

構造化データ

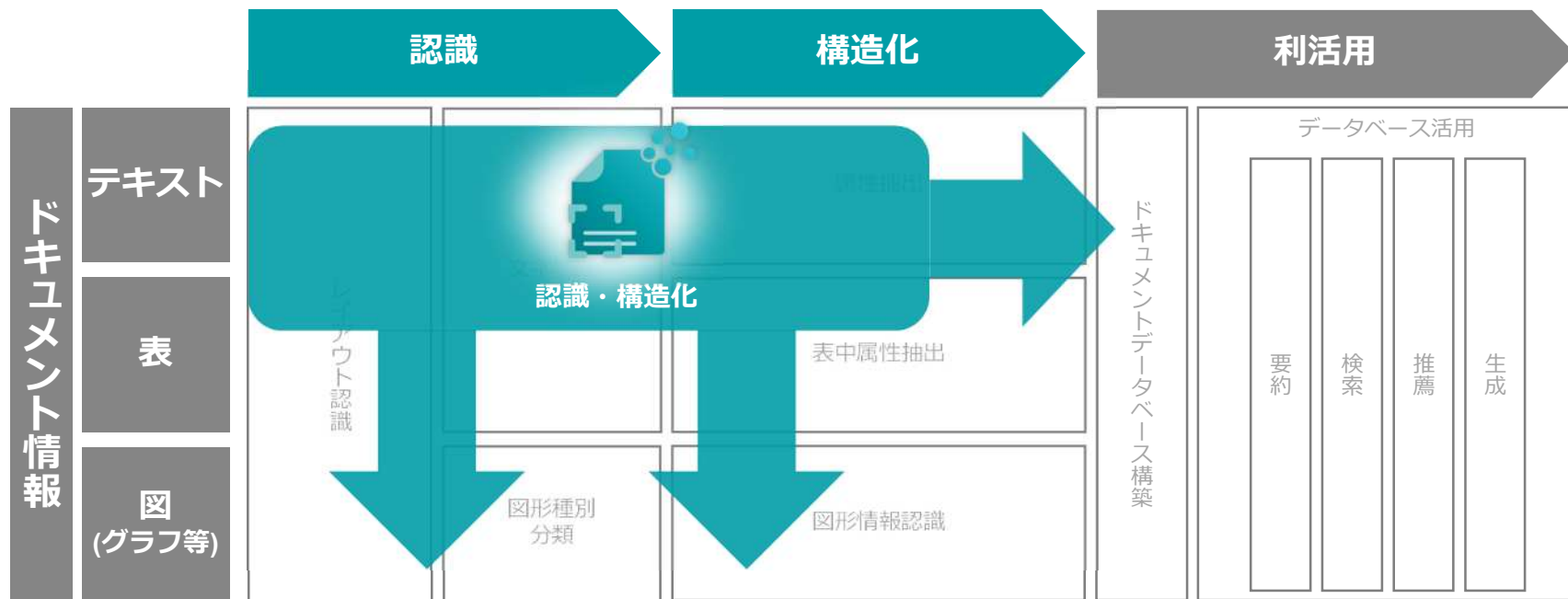
- 業務システム
- 基幹システム
- システムログ
- ...etc.

構造化データは僅か10%！

構造化されていても、多くはデータ間の整合性が取れず、横断分析ができない

データ利活用の第一歩となる「認識・構造化」

企業内に蓄積された文書や画像などの非構造データを分析・整理し、
価値ある情報へと変換することが、AIによるデータ利活用の第一歩となる

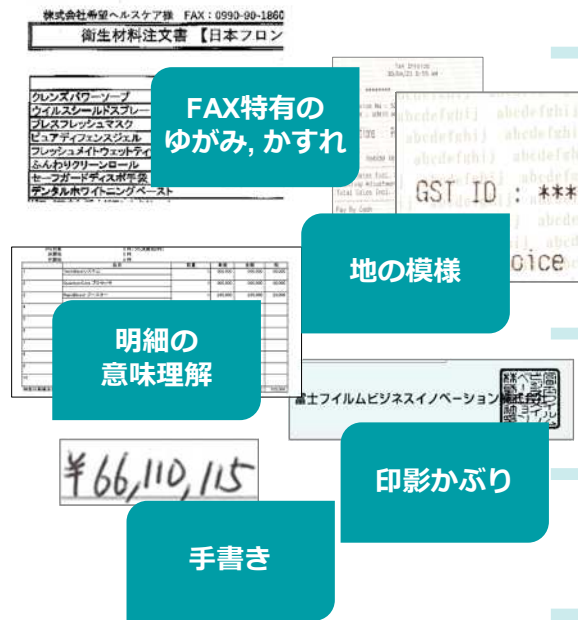


非構造化データ利活用のハードル 1 / 2

1

非構造化データは
AIによる情報抽出の難易度が高い

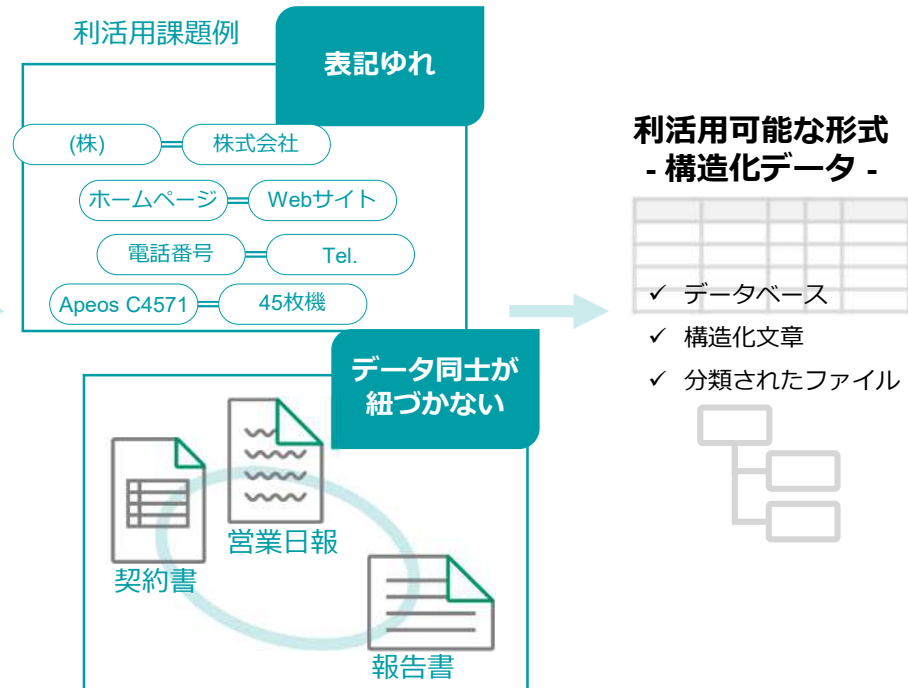
情報抽出課題例



2

利活用に最適化したデータ補正が困難

利活用課題例



非構造化データ利活用のハードル 2 / 2

3

公開不可情報が含まれる

例：個人情報すべてをマスク

はじめに

企業名

■主旨
貴社の働き方改革実現に向け、お客様との折衝へアフターサービスする紙での依頼、伝達による業務を電子（DocuWorks）に置き換えることにより、事務所への移動をなくし、生産性の向上を図ります。

■効果測定に関して
営業・設計部門及びホームサービス課で効果を検証いたしました。

対象部門	ヒアリングさせて頂いた皆様
営業・設計部門	
ホームサービス課	

担当者名

■納期とスケジュールに関して
10月末までのインストール及び活用に向けたご支援（各営業・各営業本部へご提案、ご購入ライセンス確定）
・10月10日迄 各営業本部でのインストール完了
・10月15日迄 各営業本部でのインストール完了
・10月20日以降 各営業本部様ごとで教育実施
・10月25日頃 運用スタート予定

請求書

企業・担当者名

住所

電話番号

FAX

TEL: FAX: 郵便:

ご請求金額 ¥220,000

支払期日 2025/10/31

支払条件 前払金 2025/10/31

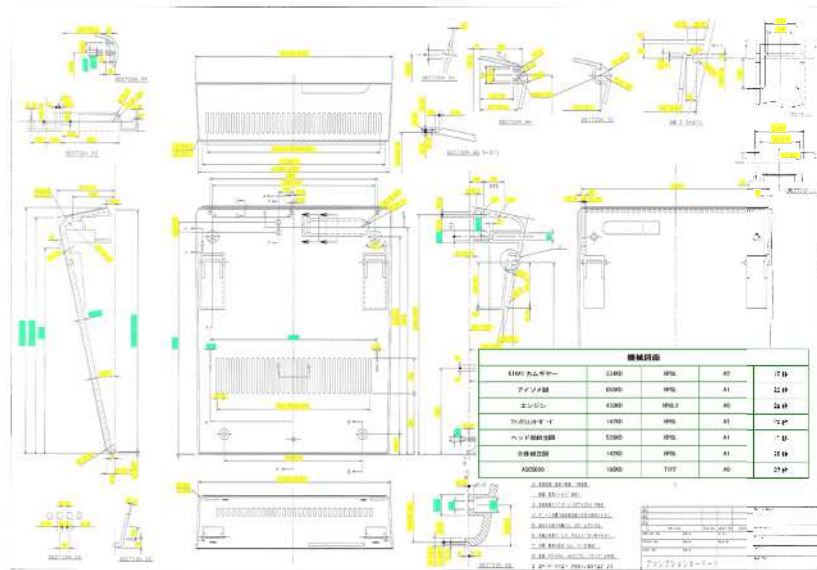
品目	数量	単価	金額	税率
サービス料	200,000	1	200,000	
消費税			20,000	10%
合計金額			220,000	

完全一致ワードのみならず、
関連する文言は全て抽出が必要！

4

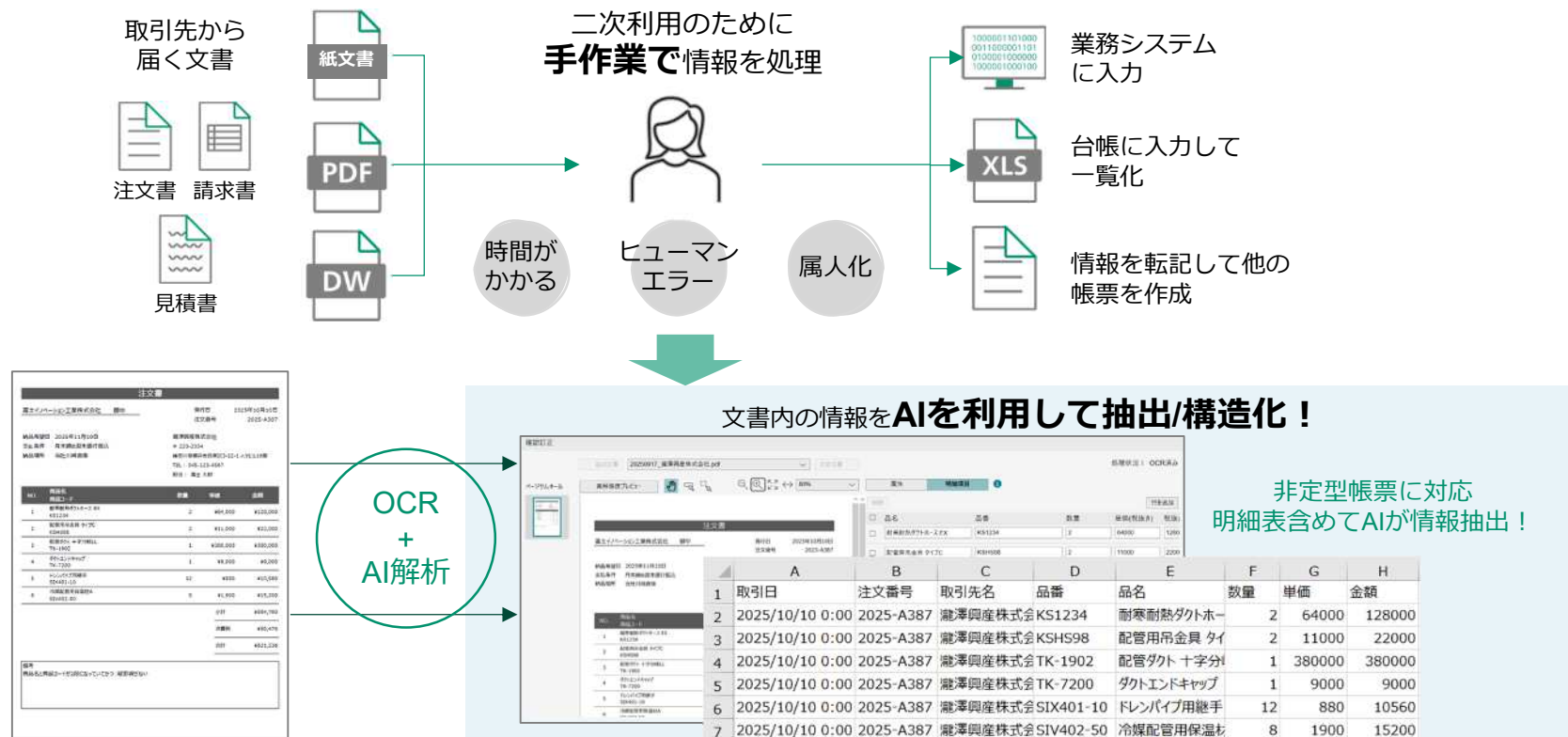
利活用のために、 特定情報のハイライトが必要

例：図面の寸法を拾う



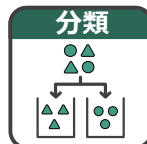
非構造化データの構造化の例：FUJIFILM IWpro

従来、多大な労力をかけて行っていた帳票からの情報抽出(非構造化データの構造化)を、AIにより効率化



FUJIFILM IWpro Intelligent Assistant オプション

4つの「分析タイプ」メニューを用意。 技術活用の敷居を下げて誰にでも使い易いソリューションをご提供

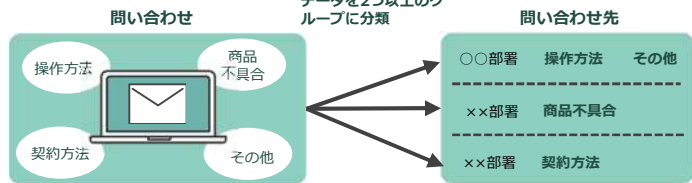


分類

分類

データをあらかじめ設定された属性ごとに振り分けます。

分類の例



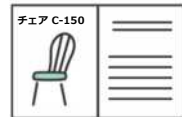
データマッチング

データ マッチング

2つのデータを比較し、一致するかまたは関連性の高い項目を見つけ出します。マッチング元とマッチング先のデータを1つずつ紐づけます。

データマッチングの例

注文書の掲載



受注システム登録用の商品コード



システム間で商品の名称が違っていてもマッチングが可能

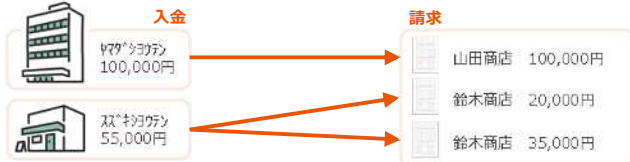


入金請求突合

入金請求突合

入金データと請求データを比較し、一致するかまたは関連性の高い項目を見つけ出します。1つの入金データに対して、1つ以上の請求データを紐づけます。

入金請求突合の例

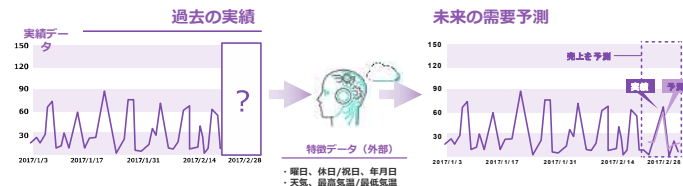


需要予測

需要予測

過去の時系列データや天気などの外部要因から、未来の数値を予測します。

需要予測の例

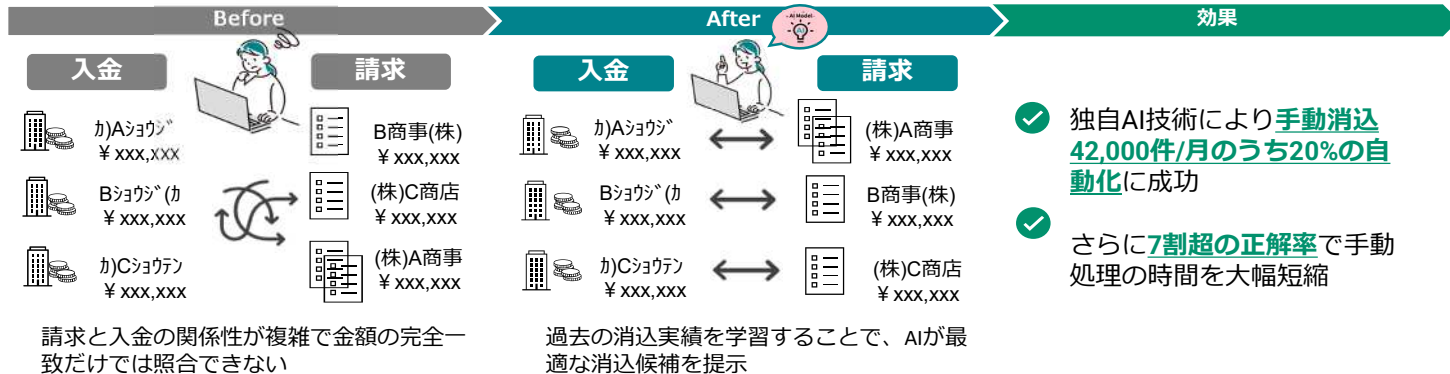


機械学習AIの活用事例（弊社グループ会社の事例）

企業独自の業務判断結果を構造化データから学習し、AIが判断を代替、効率化

事例①

経理 入金消込



事例②

問合せ 分類業務

